自分を傷つけずにはいられない子どもたちの支援

＊当財団（講座）は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、（公財）日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会（ワークショップ）」の承認を受けております。<承認期間：2022 年 7 月 2 日～2027 年 7 月 1 日 承認番号：20210392>

期　　日：2025 年 10 月 19 日（日）
受講対象：臨床心理士、助産師、小児科医師、精神科医師、保健師、保育士、教師、社会福祉関係者など各機関・現場で子どもに関わる専門家および興味のある方々
定　　員：80 名（定員になり次第締切りますので、ホームページなどでご確認ください）
受 講 料：8,500 円（税込み）
主　　催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団　TEL 03-3986-7021
会　　場：明治安田こころの健康財団 講義室　※詳細地図は受講証に添付いたします
東京都豊島区高田3-19-10
JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

いま、学校や児童福祉の現場では、子どもたちのリストカットや市販薬オーバードーズといった「故意の自傷」が大きな問題となっています。それと平行するかのように、児童生徒の自殺も増加傾向に歯止めがかかりません。なるほど、「故意の自傷」と自殺とは異なる現象ではありますが、両者は決して無関係ではありません。
今回の講座では、まず、リストカットや市販薬オーバードーズの現状、ならびにそのメカニズムや自殺との関係について理解を深めます。さらに、こうした「故意の自傷」に関して、学校や児童福祉の現場で何ができるのか、あるいは、市販薬を販売するドラッグストアでどんな取り組みができるのかについて考えてみたいと思います。

【企画講師：国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 部長 松本俊彦】

【プログラム】

日程	時 間	テ ー マ	講 師（敬称略）
10月19日（日）	9:30～11:00	リストカットとオーバードーズの理解と対応の原則	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 部長 松 本 俊 彦
	11:10～12:40	自分を傷つけずにはいられない子どもの治療と支援	社会福祉法人 子どもの虐待防止センター 子どもと家族のメンタルクリニック やまねこ 菊 地 祐 子
	12:40～13:40	*昼　食　（各自おとりください）*	
	13:40～15:10	市販薬のオーバードーズがやめられない子どもたちの理解と予防・支援	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 嶋 根 卓 也
	15:20～16:50	子どもの自殺予防～子どもの権利とウェルビーイングの視点から	子ども虐待防止センター 国立成育医療研究センター 山 口 有 紗

＊カリキュラム・休憩時間等が変更になる場合があります。